

地震災害から身を守る

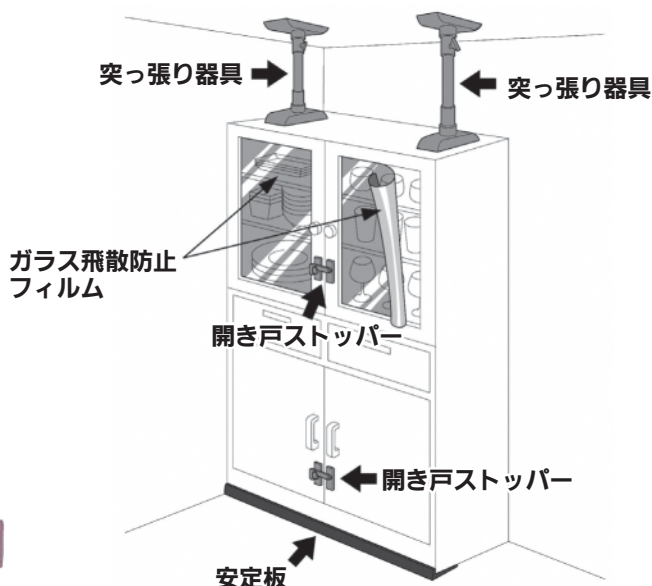
日ごろの備えと発生時の対応

本市には日奈久断層帯など、地震を引き起こすひずみがあると指摘されています。いつ地震が起こるかわからない今、日ごろからの心構えと備えが大切です。

問合せ 危機管理課 ☎ 33-4112

日ごろの備えで危険を減らす

- ・突っ張り器具などで家具を固定し、ガラスに飛散防止フィルムを張る
- ・家の中に閉じ込められないように、家具の向きや配置を工夫する
- ・離ればなれになった場合の安否の確認方法を家族で決めておく
- ・避難場所や避難経路を確認しておく
- ・最低3日分の水（目安は1人3リットル/日）と食料を備えておく



地震が起きたら

【屋内にいるとき】

- ・揺れを感じたら、まず丈夫な机などの下に身を隠し、揺れが収まったら、慌てずに火の始末をする
- ・割れたガラスなどを踏んでけがをしないように、スリッパや靴を履いて移動する

【屋外にいるとき】

- ・かばんなどで頭を保護し、公園や空き地など落下物の危険がない場所へ避難する

【車を運転しているとき】

- ・徐々にスピードを下げ、ゆっくりと道路の左側に車を止める

備蓄におすすめ

ローリングストック法

普段から使う保存のよい食料を少し多めに買い置きし、使った分を買い足すことで、常に一定量を備蓄しておく備え方です。日常生活で古いものから消費することで、備蓄品の「期限切れ」を防ぎ、食べ慣れたもので備えることができます。



広告

畳・襖・リフォーム工事のことなら

美創オカモト 32-4839

本社：〒866-0041 八代市八幡町7-17